

七尾湾貧酸素情報

第32号

2020年07月10日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 7月6日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回の調査では、西湾養殖場の底層で溶存酸素量がやや低めの調査点がありましたが、貧酸素水(溶存酸素量2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした(表1・図1)。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は、6月27日から29日に大きく変動した後、22°C前後で推移しています。溶存酸素量は期間を通じて7mg /L前後で推移しています(図2)。
- 西湾では表層～水深2mに河川水由来の低塩分水の分布が見られました(参考)。
- 水産総合センターでは今後も観測を行い、適宜情報提供する予定です。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【7月6日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾	
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	16m
1m	7.6	7.6	7.7	7.7	7.3	7.3	7.5	7.3	7.1	7.3
5m	6.5	5.8	7.2	5.9	-	-	6.4	7.1	7.3	7.4
海底付近	6.4	5.5	7.2	4.6	6.3	4.6	4.9	5.3	5.9	6.2

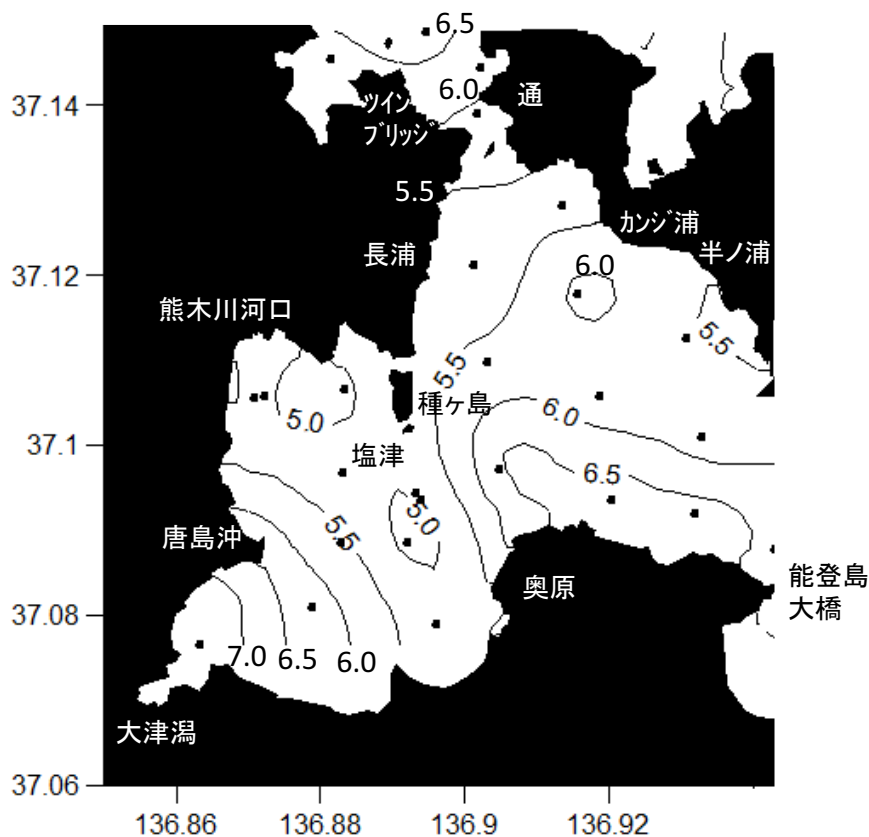


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【7月6日観測】

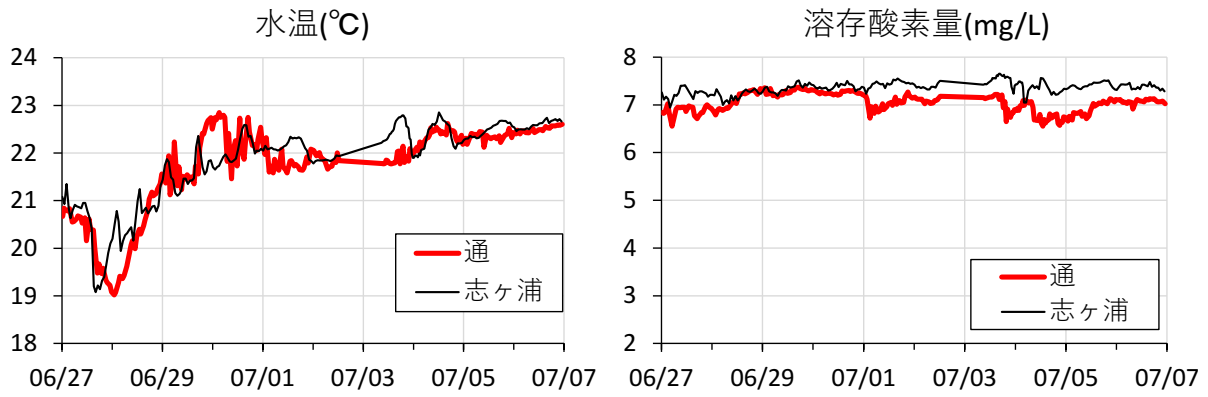
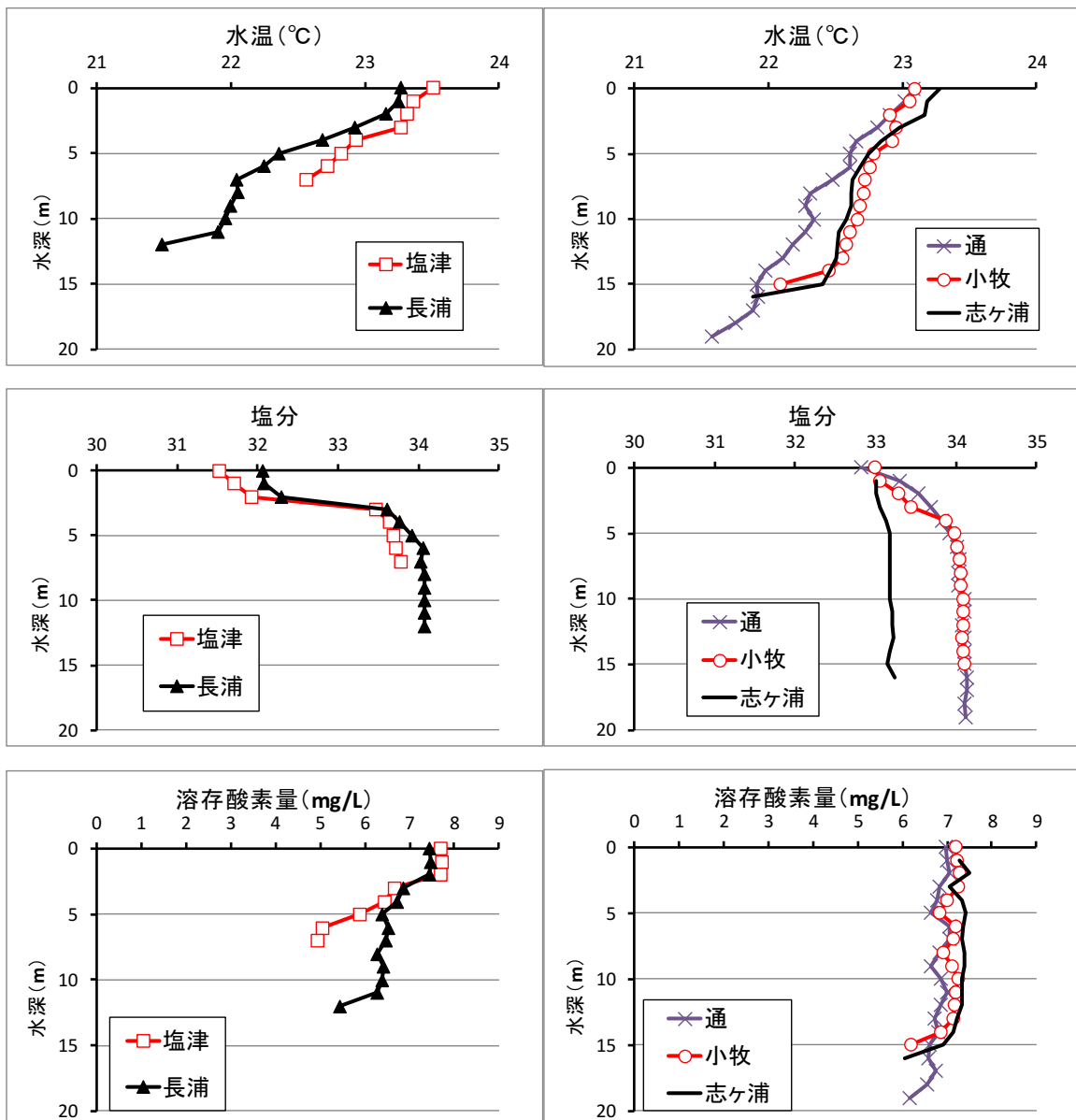


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移（6月27日～7月6日の観測ブイの結果）

(参考) 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

(塩津、長浦)

(通、小牧、志ヶ浦)



七尾湾貧酸素情報

第33号

2020年07月17日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 7月13日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 海底付近では溶存酸素量がやや低めの調査点がありましたが、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下の発生は確認されませんでした(表1・図1)。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は22～23 °C台で、溶存酸素量は7mg /L前後で安定して推移しています(図2)。
- 西湾および北湾の三ヶ浦周辺では表層～水深5mに河川水由来の低塩分水の分布が見られました(参考)。
- 昨年同時期には種ヶ島南側で貧酸素水塊の発生が確認されましたが、今年はまだ確認されていません。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【7月13日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾	
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	16m
1m	8.0	7.7	8.2	7.8	8.1	7.9	7.3	7.4	7.3	7.3
5m	6.8	6.8	6.5	6.6	-	-	6.1	6.0	7.0	7.4
海底付近	5.3	6.5	4.5	6.6	5.3	5.9	5.7	4.1	5.8	6.2

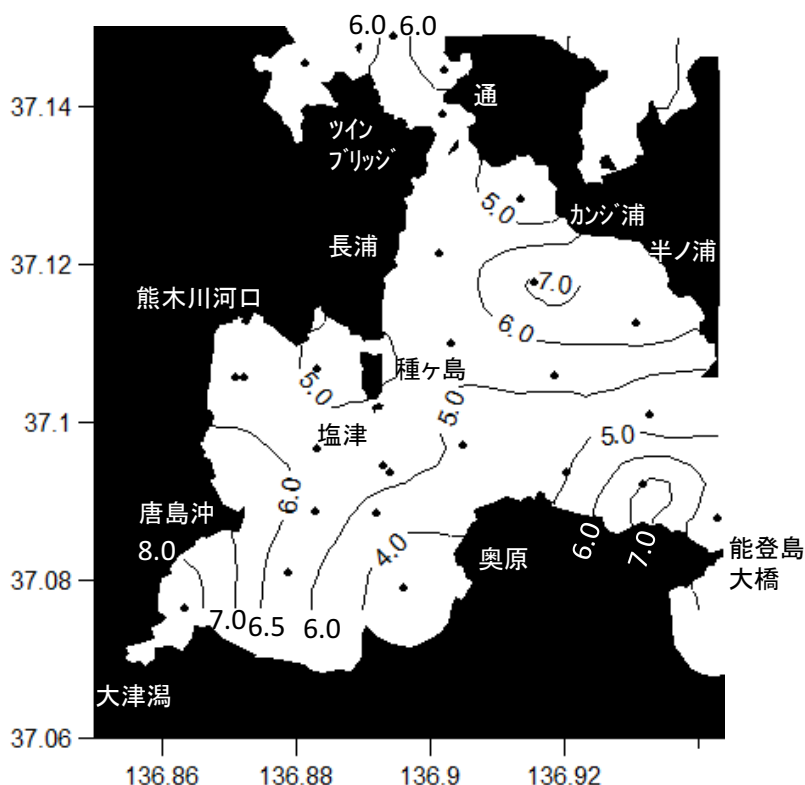


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【7月13日観測】

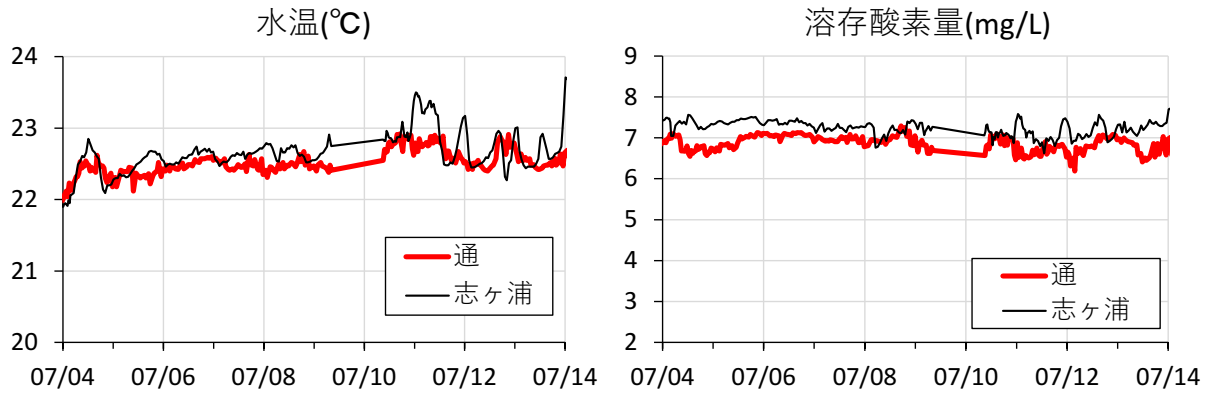
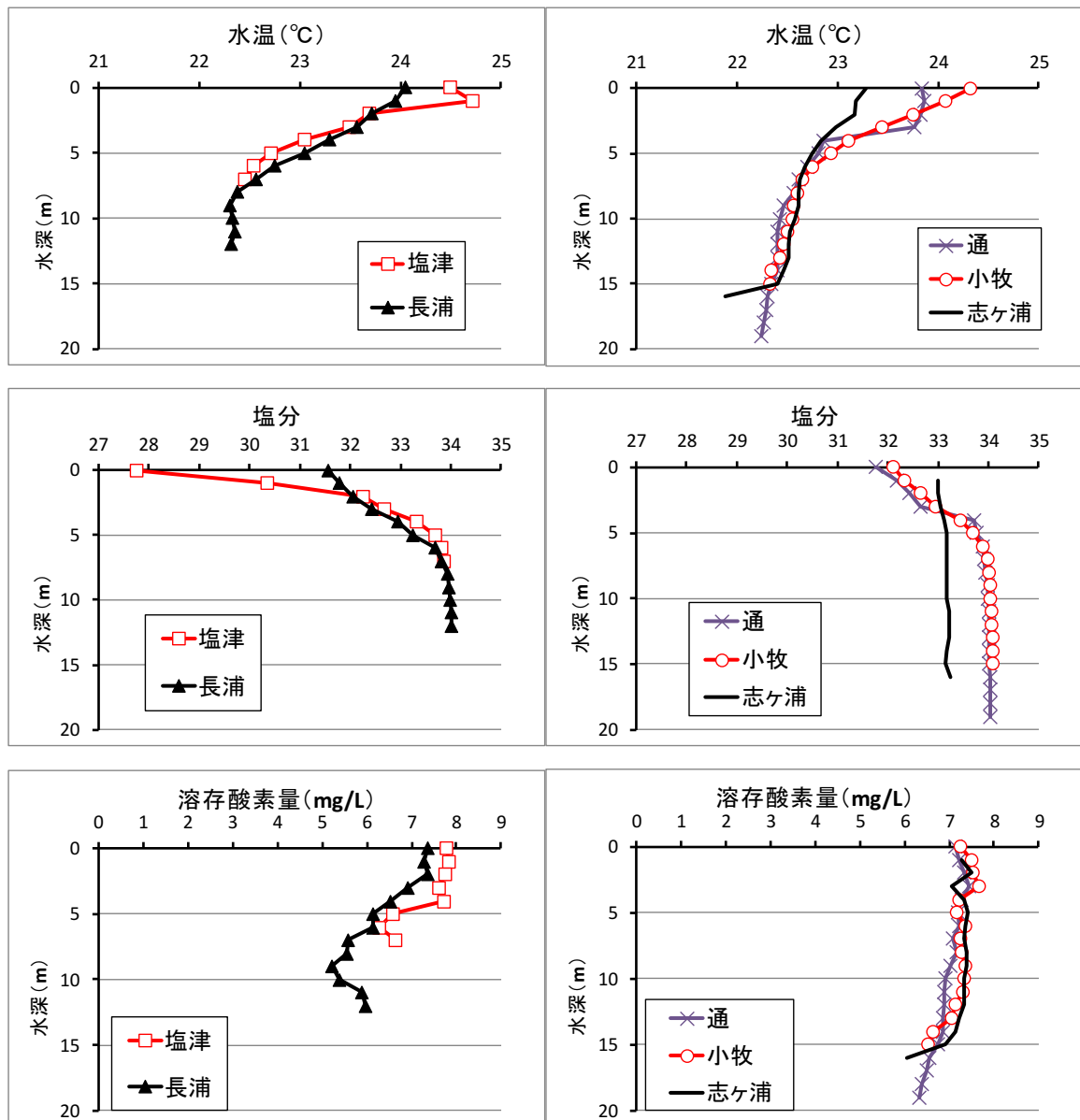


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移 (7月4日~7月14日の観測ブイの結果)

(参考) 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

(塩津、長浦)

(通、小牧、志ヶ浦)



七尾湾貧酸素情報

第34号

2020年07月22日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 7月20日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 種ヶ島南側の海底付近では溶存酸素量がやや低めの調査点がありましたが、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした(表1・図1)。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は上昇傾向にあり、20日時点で約24 °Cでした。溶存酸素量は7 mg/L台で安定して推移しています(図2)。
- 調査海域の広い範囲で表層には河川水由来の低塩分水が分布していました(参考)。
- 今年は貧酸素水塊がまだ確認されていませんが、底層の平均溶存酸素量(5.6 mg/L)は昨年同時期(6.1 mg/L)に比べてやや低めとなっています。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【7月20日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	7.2	7.4	7.3	7.3	7.8	7.4	7.3	7.2	7.2	7.3	7.9
5m	6.5	7.1	6.1	5.4	-	-	6.8	7.4	7.4	7.3	7.8
海底付近	5.2	6.6	5.6	3.3	6.4	5.8	4.5	6.9	5.4	6.4	7.0

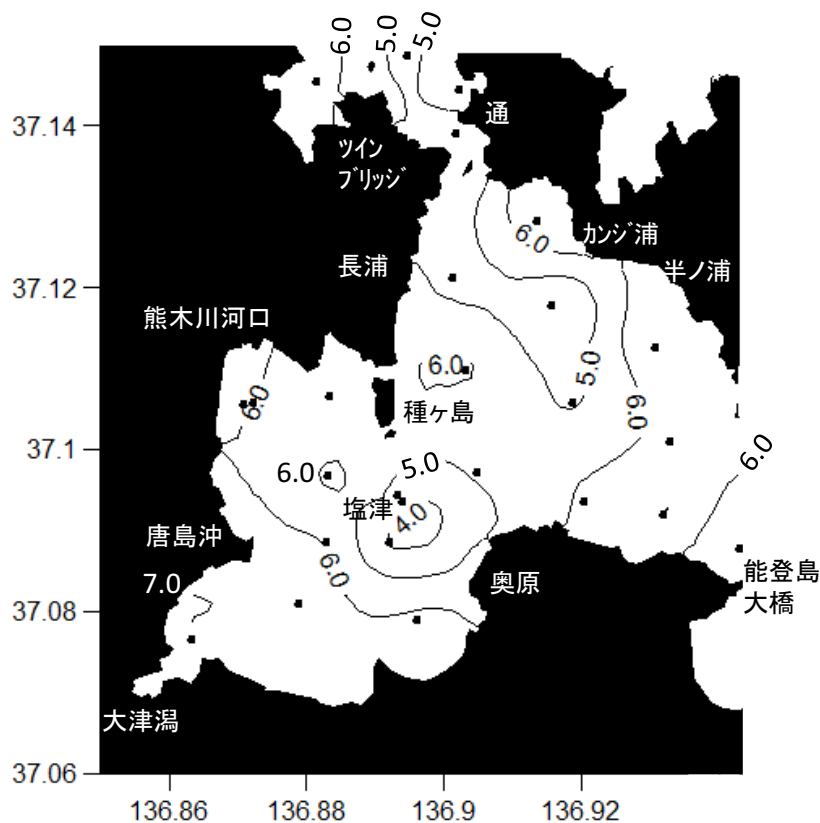


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【7月20日観測】

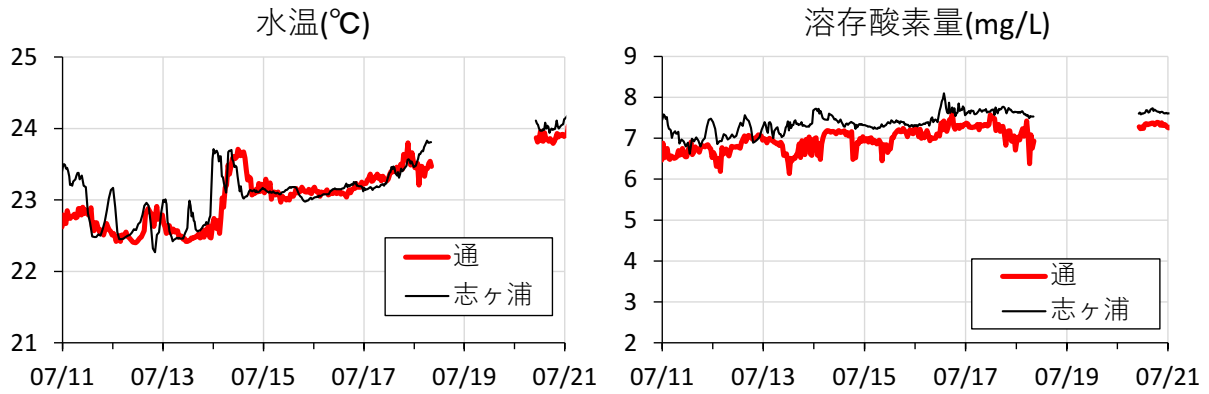
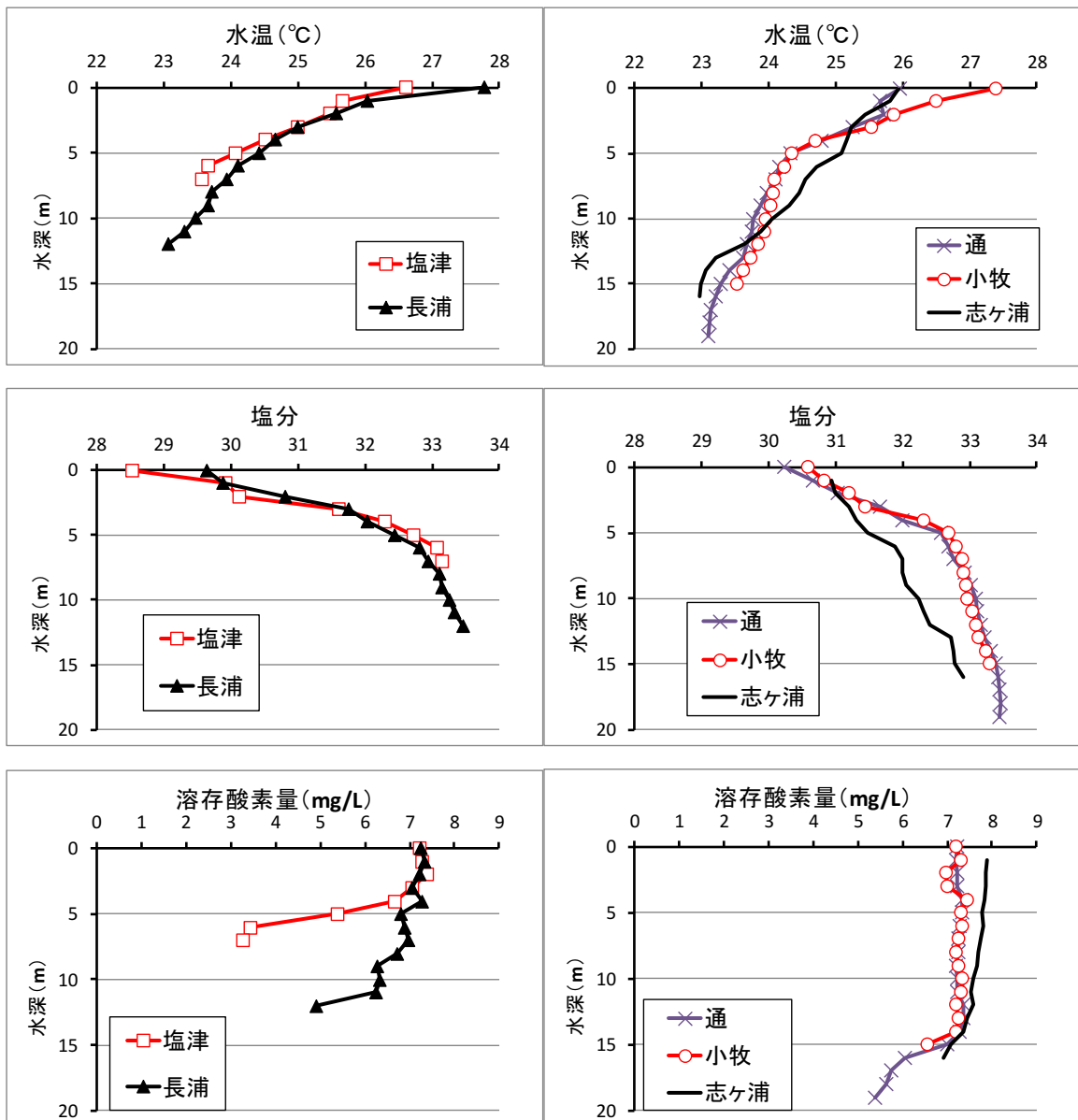


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移（7月11日～7月21日の観測ブイの結果）

(参考) 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

(塩津、長浦)

(通、小牧、志ヶ浦)



七尾湾貧酸素情報

第35号

2020年07月29日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 7月27日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 種ヶ島南側の海底付近で、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生が確認されました(表1・図1)。また、同海域から長浦にかけての海底付近では、溶存酸素量が低くめになっていますので、今後の変化に注意が必要です。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は昇降を繰り返しており、28日時点で24 °C台でした。溶存酸素量は5~8 mg/L台で推移しています。通養殖場では増減を繰り返しながら、やや低下傾向にあります。志ヶ浦養殖場は、概ね7 mg/Lで安定して推移しています(図2)。
- 調査海域の表層には河川水由来の低塩分水が広く分布していました(参考)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【7月27日観測】

調査 海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島 大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川 河口	長浦	カンジ 浦	ツインブ リッジ	小牧	志ヶ浦 (穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	7.1	7.3	7.6	7.3	7.8	7.1	6.9	7.4	7.0	6.9	7.6
5m	7.3	7.2	8.0	6.8	-	-	6.9	7.7	7.0	7.1	7.6
海底付近	6.7	7.3	1.9	1.1	5.9	6.4	2.7	6.3	5.1	5.9	6.6

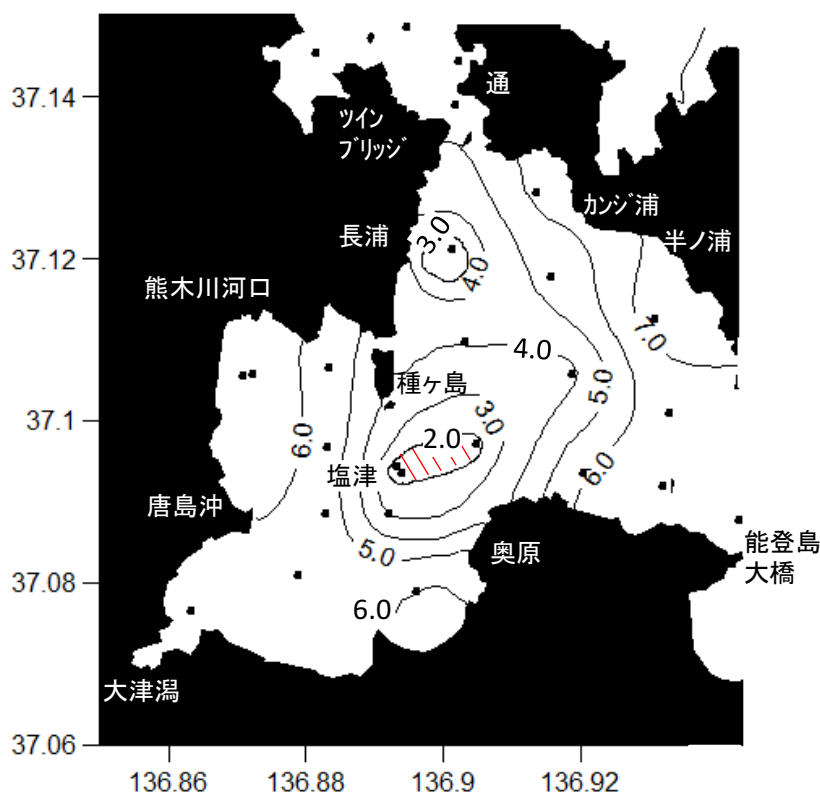


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【7月27日観測】

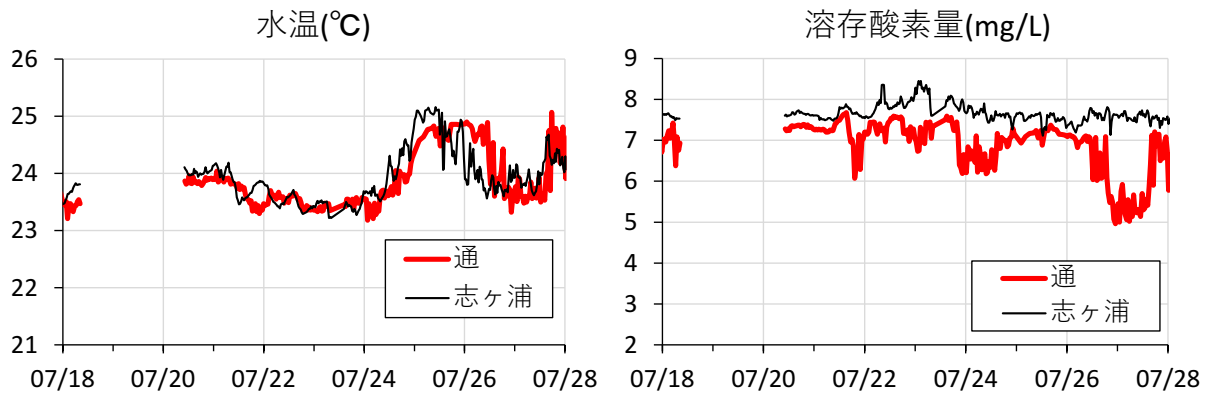
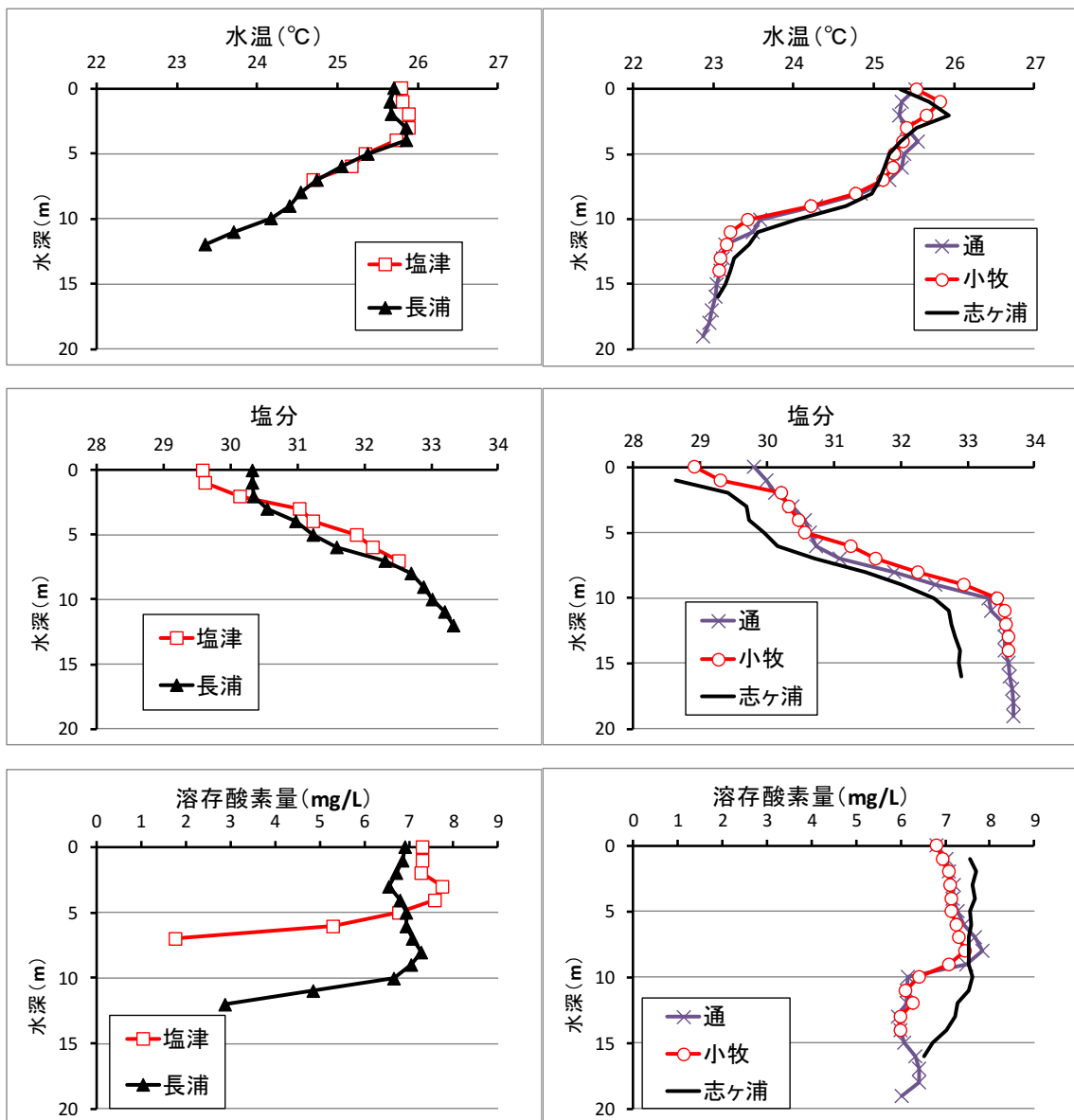


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移 (7月18日~7月28日の観測ブイの結果)

(参考) 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

(塩津、長浦)

(通、小牧、志ヶ浦)



七尾湾貧酸素情報

第36号

2020年08月07日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 8月4日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生が確認されませんでした。大津潟周辺、塩津、長浦、ツインブリッジの海域の海底付近では溶存酸素量がやや低めの調査点がありました(表1・図1)。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は8月に入ってから24℃台で安定して推移しています。溶存酸素量は8月に入ってから6~8 mg/L台で安定して推移しています(図2)。しかし、両養殖場の表層では高温化、通養殖場の底層では溶存酸素量の低下が見受けられ、今後の気象条件によっては、高温化・低酸素化がさらに進む可能性がありますので、リアルタイム観測データの日々の確認が必要です(参考)。
- 調査海域の表層には低塩分水が広く分布していました(参考)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【8月4日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	7.4	7.6	7.5	7.7	8.1	8.0	7.6	7.3	7.2	7.1	8.4
5m	7.3	6.1	6.2	6.3	-	-	6.8	7.2	7.2	7.3	8.4
海底付近	5.8	6.0	5.3	5.0	4.7	5.2	3.3	5.3	3.8	5.9	7.5

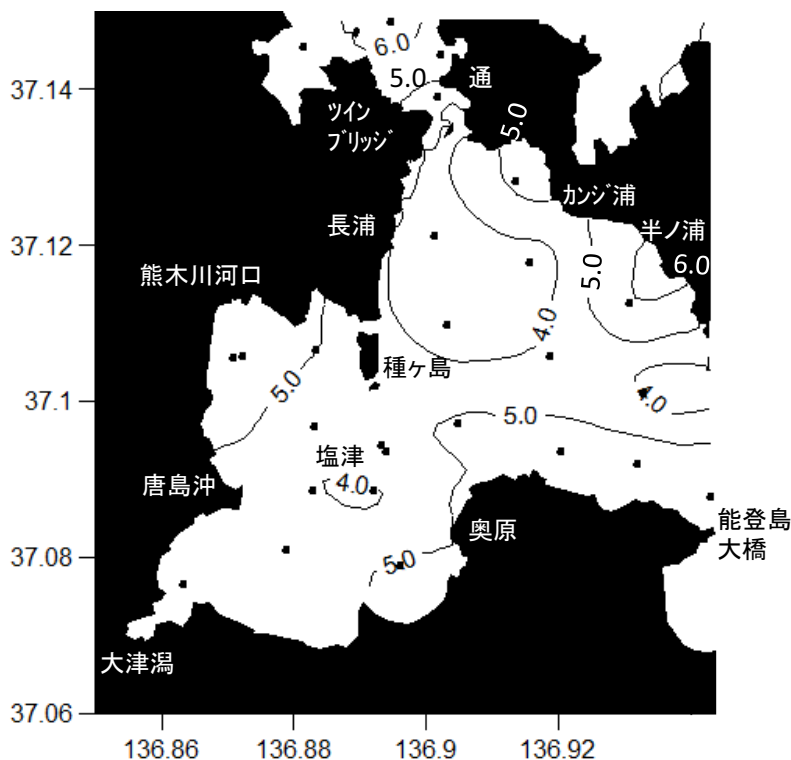


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L)【8月4日観測】

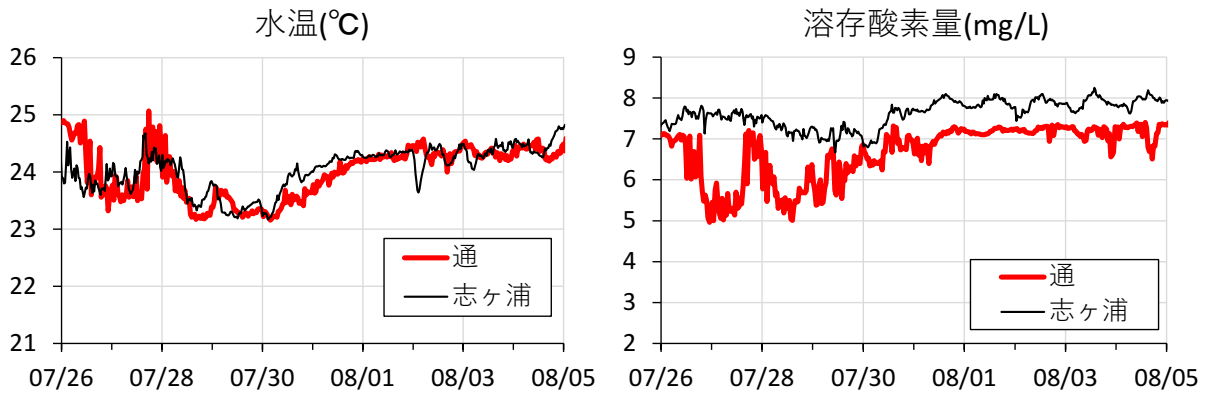
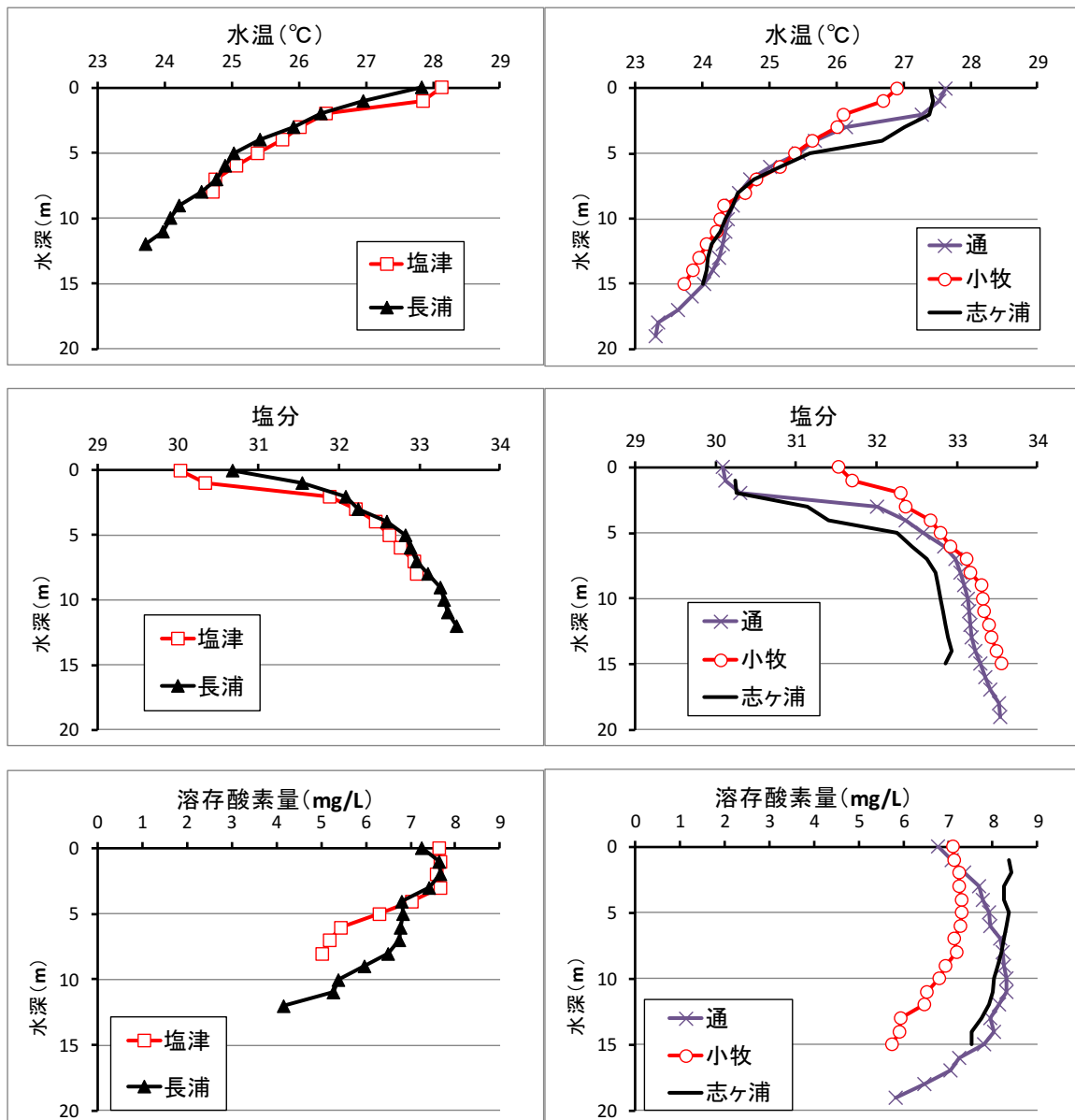


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移（7月26日～8月5日の観測ブイの結果）

(参考) 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

(塩津、長浦)

(通、小牧、志ヶ浦)



七尾湾貧酸素情報

第37号

2020年08月20日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 8月18日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした。西湾北部の海底付近で溶存酸素量がやや低めでした(表1・図1)。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は上昇傾向にあり、19日現在で26°C台でした。気象庁の2週間気温予報によれば、平年より高めの日が多くなることから、今後も水温が上昇する可能性があり、今後の動向に注意が必要です。溶存酸素量は6～8 mg/L台で安定して推移しています(図2)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【8月18日観測】

調査海域	南湾	西湾						北湾			
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	6.7	6.5	6.9	6.9	7.1	7.1	7.0	6.8	6.8	6.9	8.3
5m	6.7	7.0	6.8	6.6	-	-	6.5	6.7	6.7	6.9	8.1
海底付近	6.1	7.0	5.5	5.3	6.1	6.9	4.4	4.8	4.6	6.9	7.3

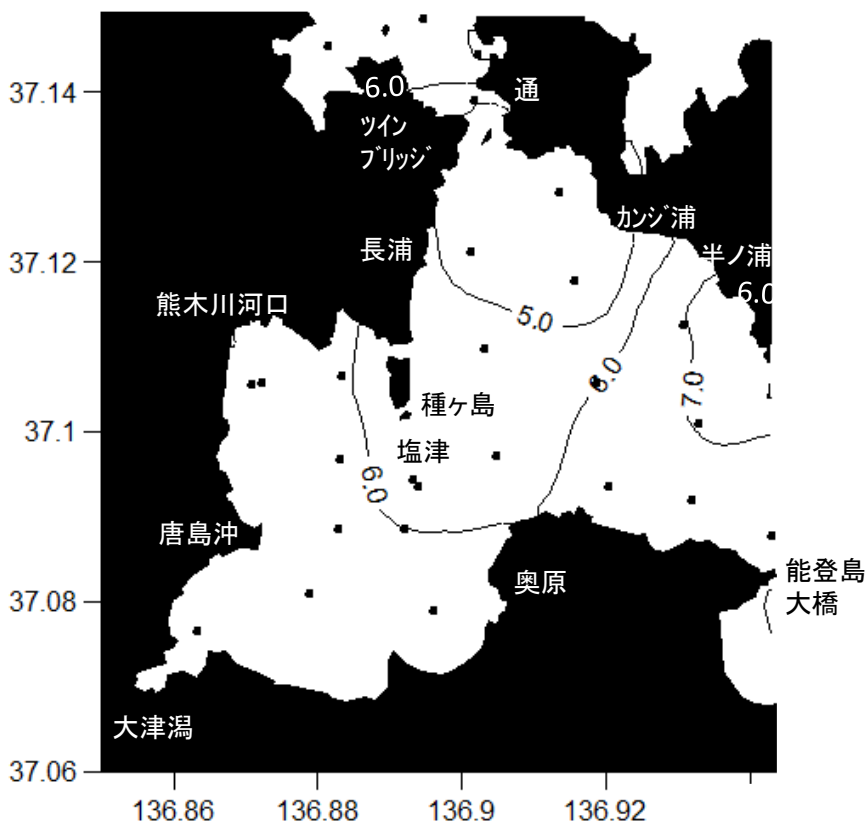


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【8月18日観測】

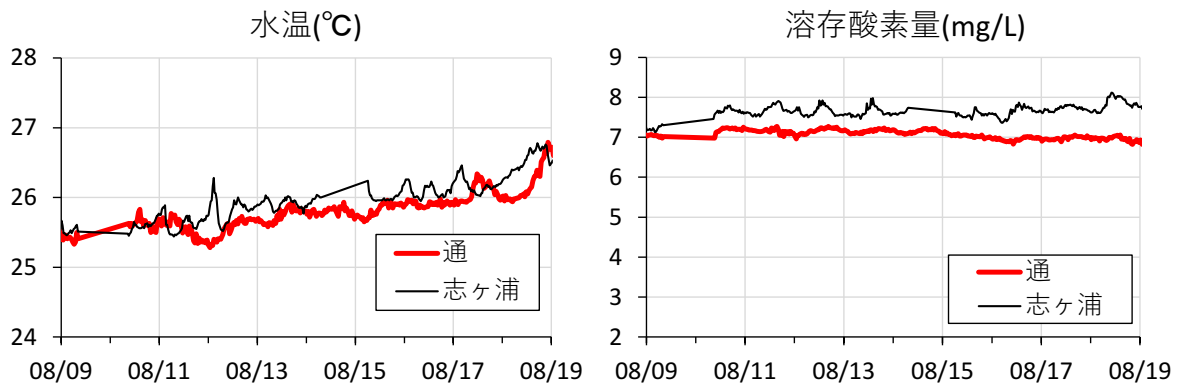


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移（8月9日～8月19日の観測ブイの結果）

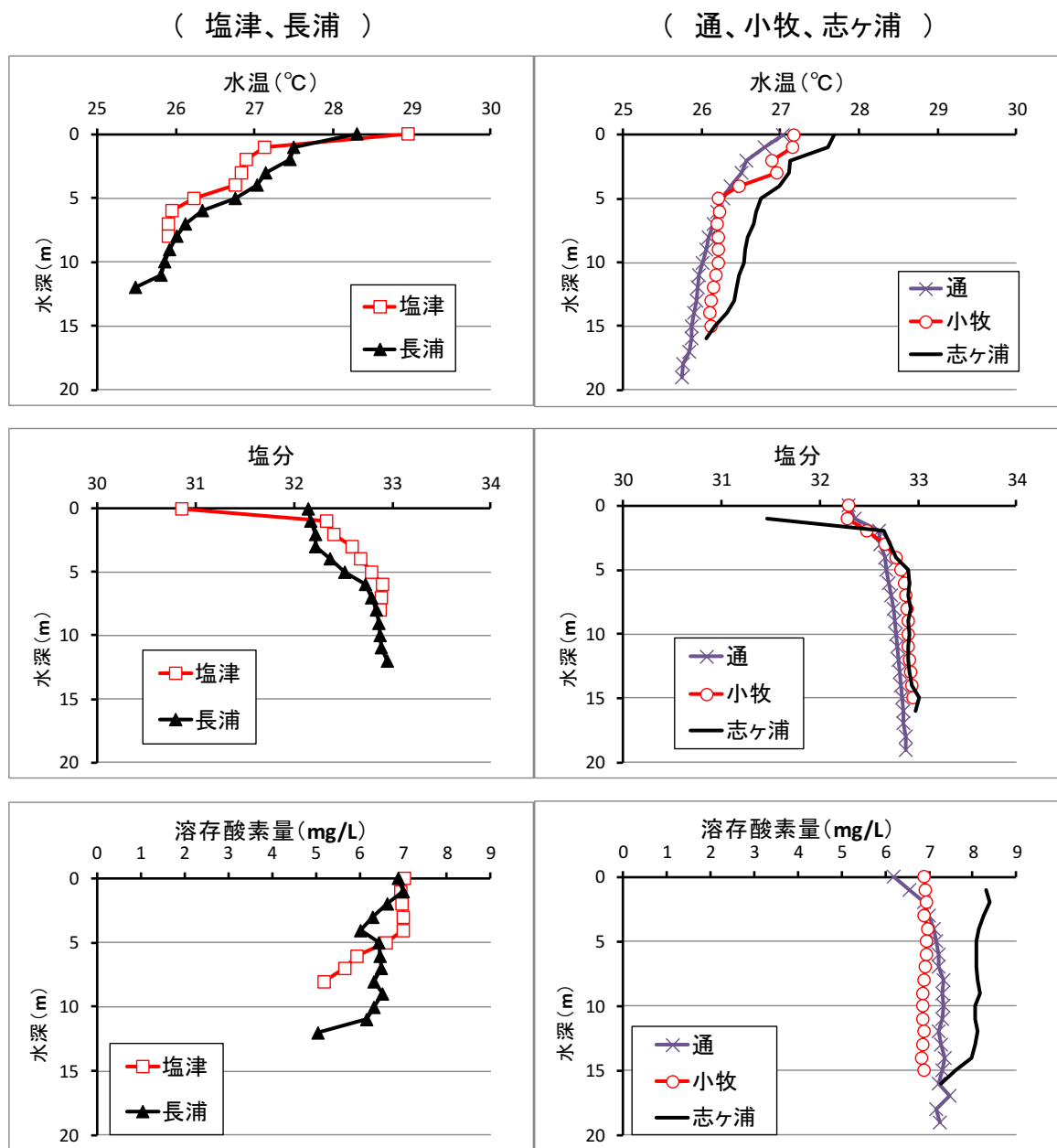


図3. 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

七尾湾貧酸素情報

第38号

2020年08月27日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 8月25日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした(表1・図1)。
- 調査海域の平均水温は、水深1mで29.5°C、5mで29.0°Cであり、高水温になっています。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は大きく上昇しており、26日現在で28°C台でした。気象庁の2週間気温予報によれば、平年より高めの日が続く見込みであることから、今後も水温が高めで推移する可能性があり、今後の動向に注意が必要です。溶存酸素量は6~8 mg/L台で安定して推移しています(図2)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【8月25日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	6.6	6.6	6.7	6.9	7.5	6.7	6.7	6.9	6.5	6.8	7.8
5m	6.1	6.9	6.8	6.5	-	-	6.8	7.0	6.5	6.7	7.7
海底付近	5.2	6.7	4.9	4.9	5.8	5.6	4.0	6.9	4.9	5.9	7.6

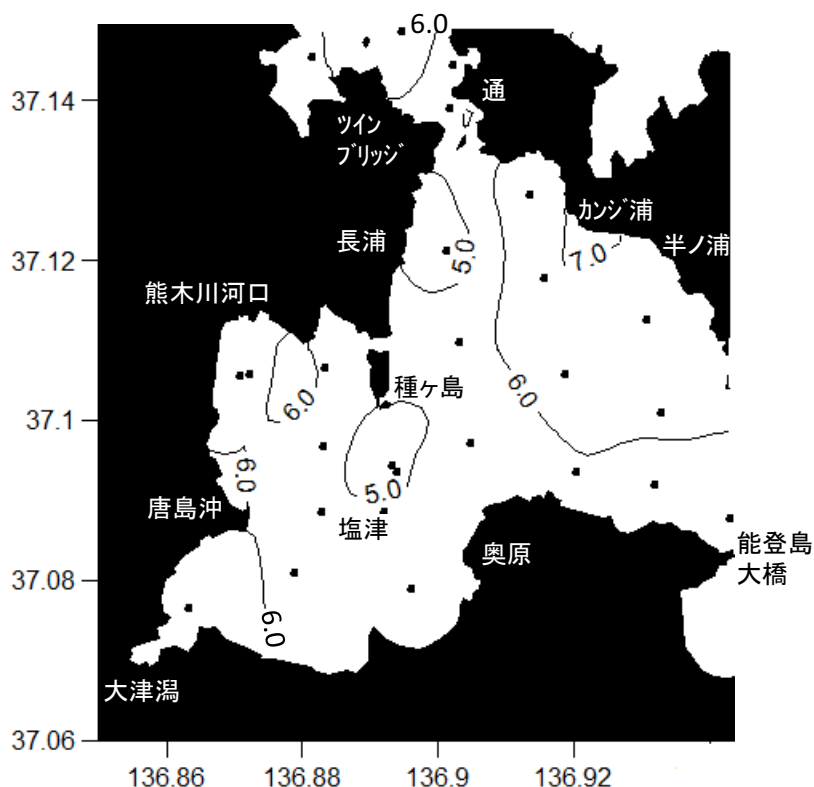


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【8月25日観測】

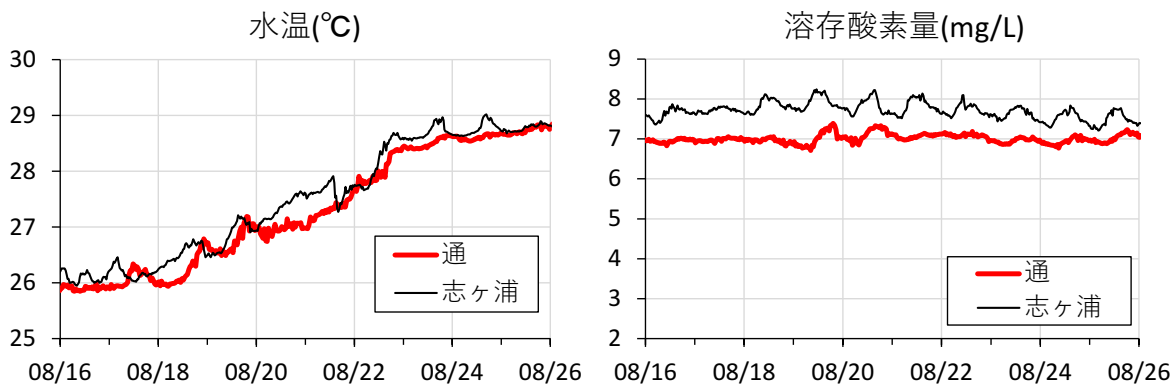


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移 (8月16日~8月26日の観測ブイの結果)

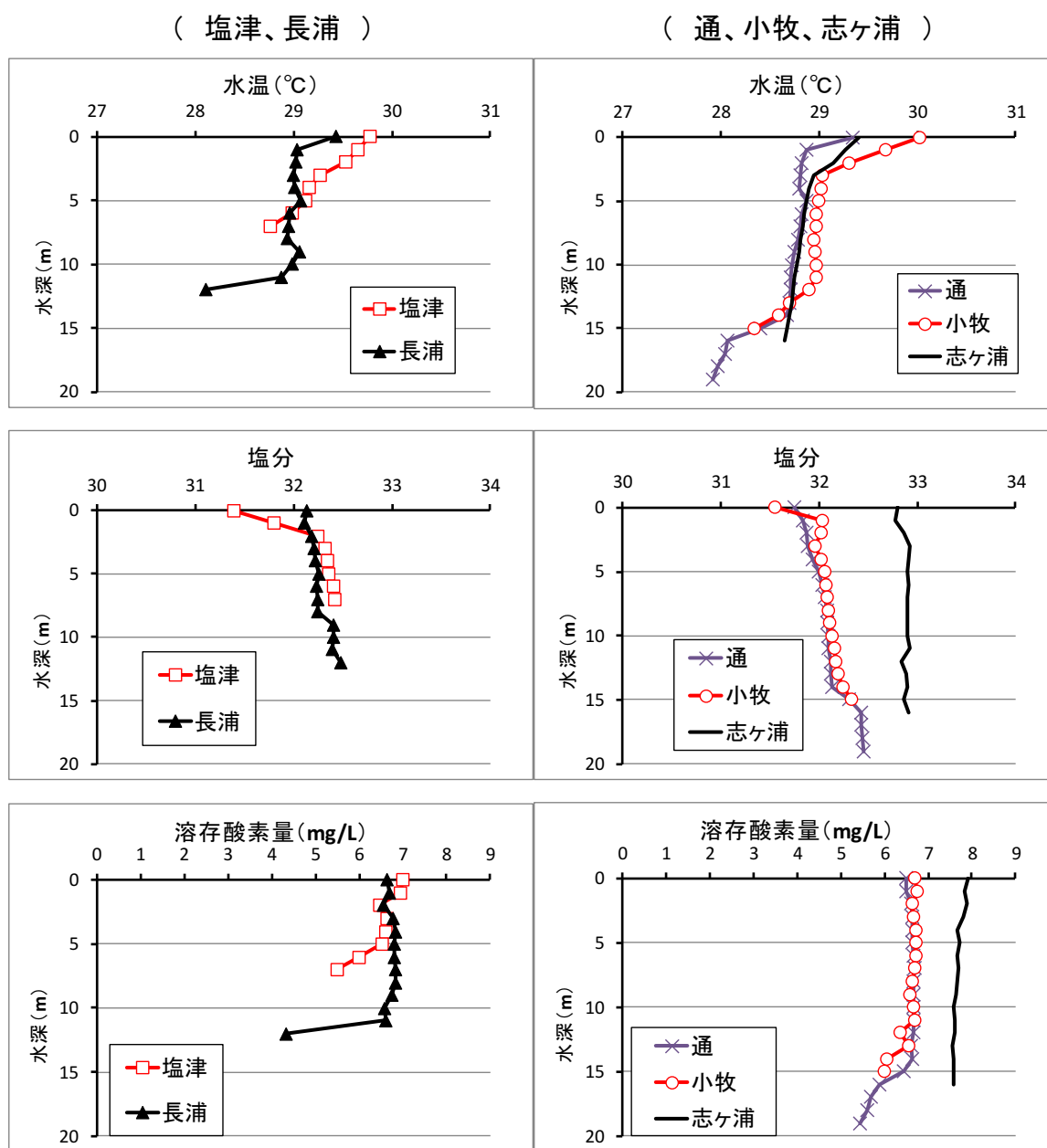


図3. 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

七尾湾貧酸素情報

第39号

2020年09月02日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 8月31日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 種ヶ島南側と東側調査点の海底付近で、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生が確認されました(表1・図1)。
- 調査海域の平均水温は、水深1mで30.7°C、5mで30.3°Cであり、高水温になっています。貧酸素化も進みやすくなるため、今後の変化に注意が必要です。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は上昇傾向にあり、1日現在で29°C台でした。気象庁の2週間気温予報によれば、平年より高めの日が続く見込みであることから、今後も水温が高めで推移する可能性があり、引き続き、今後の動向に注意が必要です。溶存酸素量は6~7 mg/L台で安定して推移しています(図2)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【8月31日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	6.5	6.4	6.7	6.7	6.8	6.7	6.6	6.7	6.7	6.8	6.4
5m	6.6	6.8	6.6	6.7	-	-	6.5	6.7	6.7	6.9	6.3
海底付近	6.1	6.1	3.4	1.7	6.3	6.1	3.2	5.5	4.5	4.2	5.4

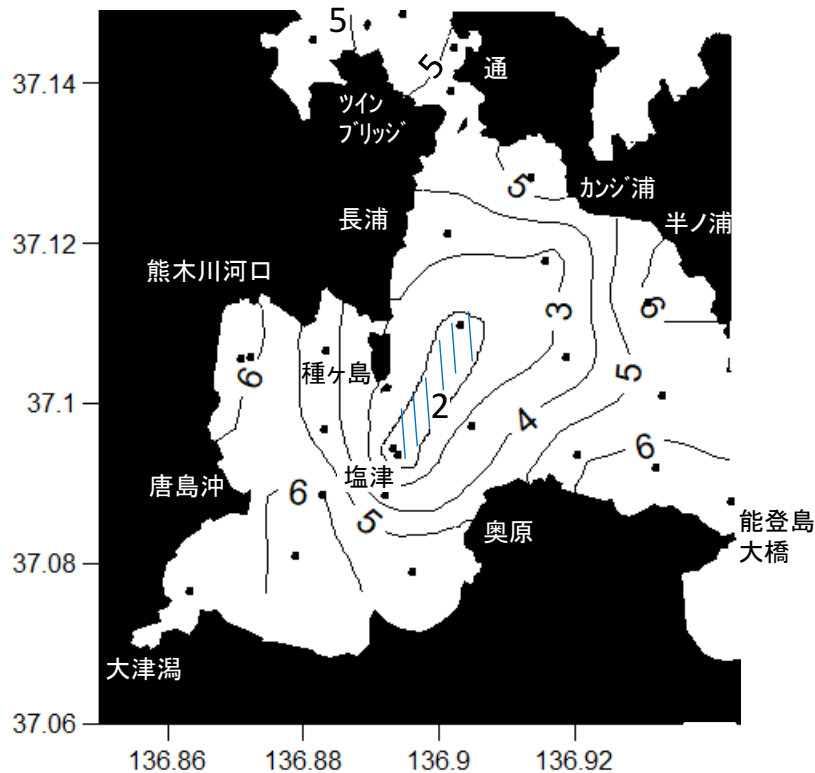


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【8月31日観測】

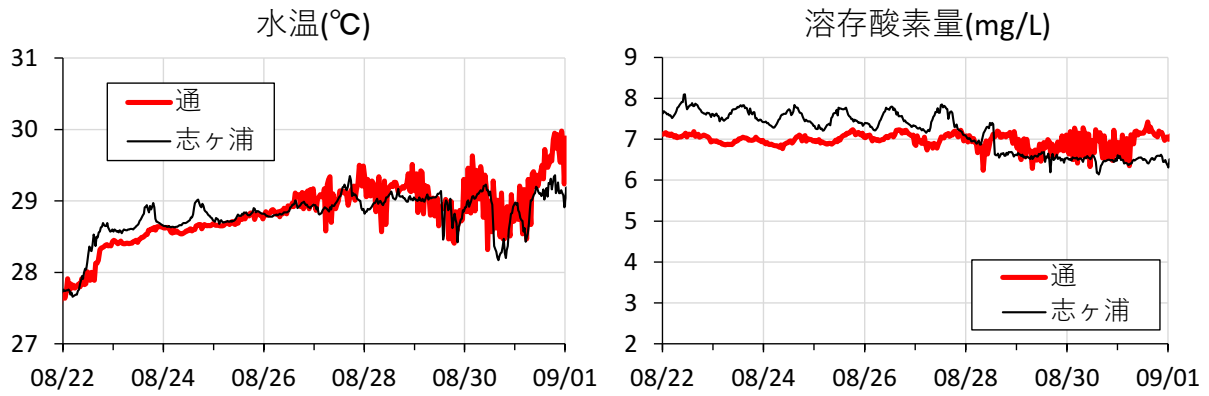


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移 (8月22日～9月1日の観測ブイの結果)

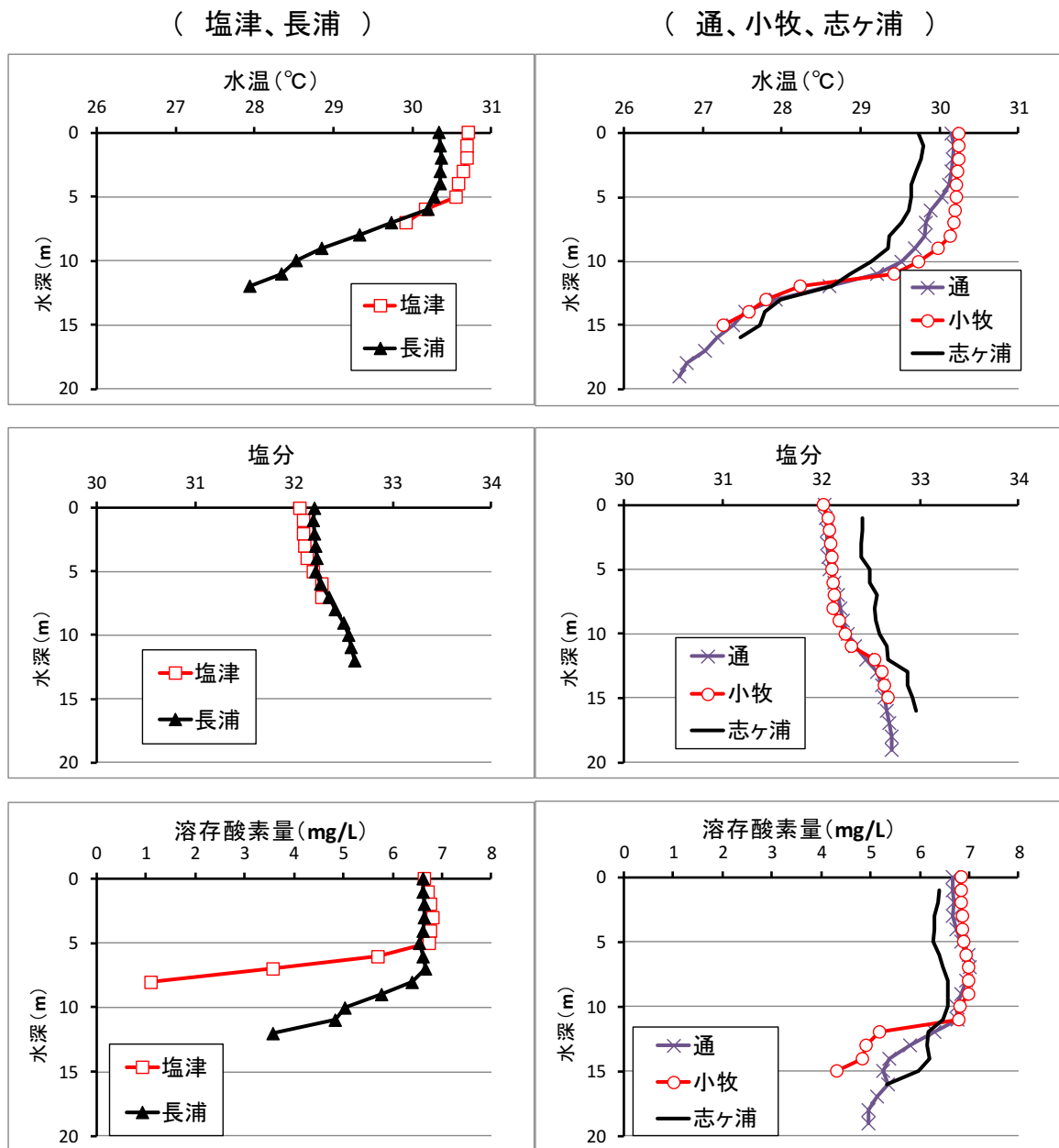


図3. 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

七尾湾貧酸素情報

第40号

2020年09月11日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 9月10日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした(表1・図1)。台風10号による風の影響で海水混合が促進されたと考えられます。
- 調査海域の平均水温は、水深1m、5mともに29.4°Cであり、前回の調査(8/31)よりやや低下しました。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温は7日以降にやや低下し、11日現在で28°C台でした。9月に入り気温は低下していきませんが、気象庁の2週間気温予報によれば、平年より高めの日が続く見込みであることから、今後も水温が高めで推移する可能性があり、引き続いて今後の動向に注意が必要です。溶存酸素量は5~6 mg/L台で概ね安定して推移しています(図2)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【9月10日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	6.4	6.3	6.6	6.6	6.2	6.2	6.5	6.2	6.3	6.2	6.4
5m	6.1	6.3	6.3	6.1	-	-	6.4	6.1	6.3	6.3	6.4
海底付近	5.3	6.3	4.8	4.6	5.3	5.4	4.5	5.2	4.8	6.0	6.0

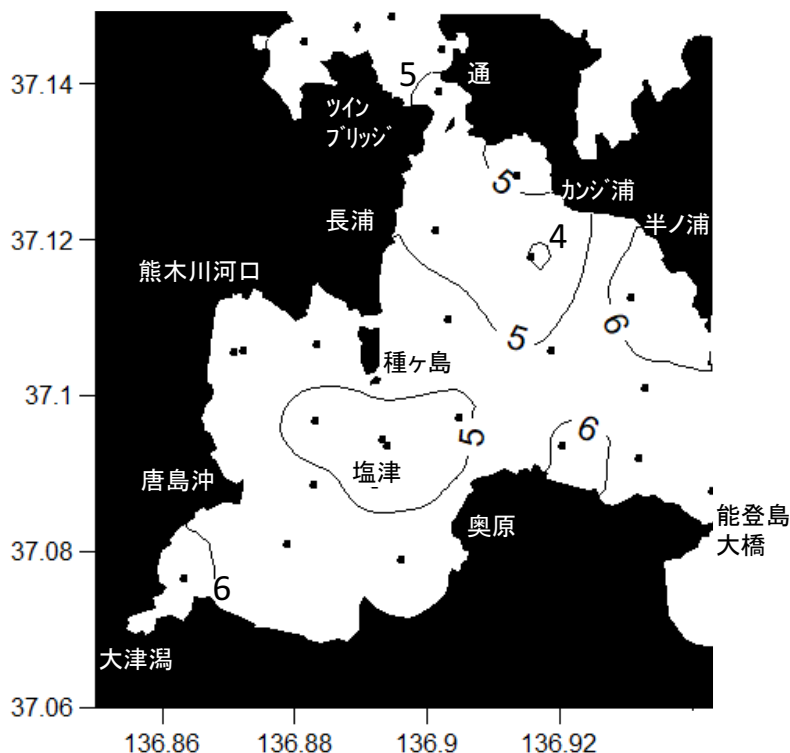


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【9月10日観測】

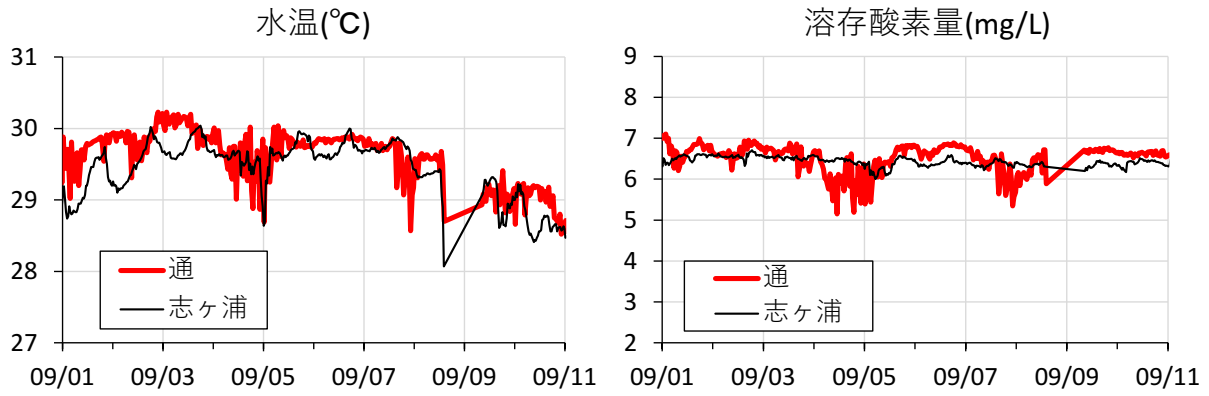


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移（9月1日～9月11日の観測ブイの結果）

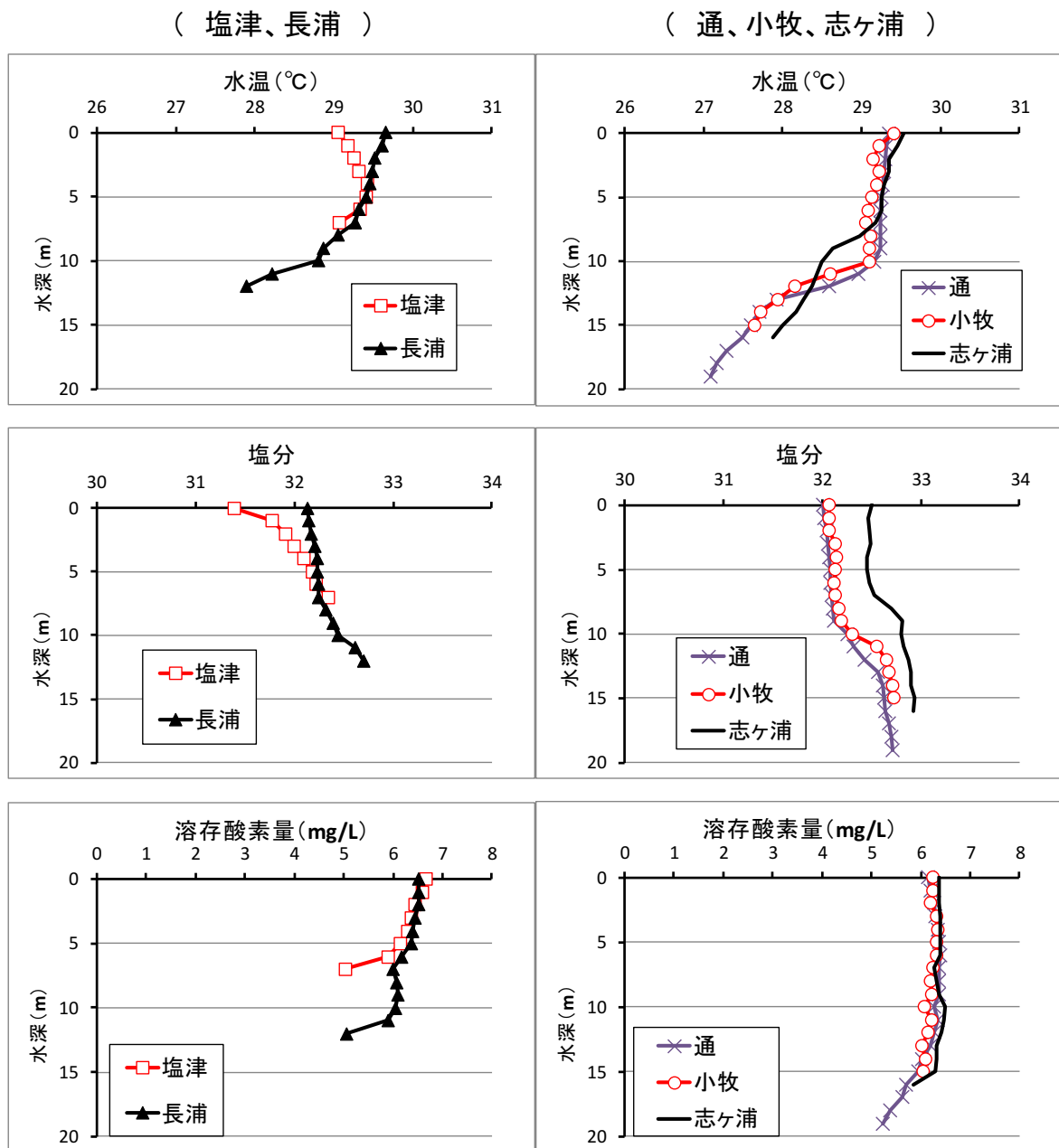


図3. 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

七尾湾貧酸素情報

第41号

2020年09月18日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 9月14日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした(表1・図1)。
- 調査海域の平均水温は、水深1m、5mともに27.9°Cであり、前回の調査(9/10)から1.7°C低下しました。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温はともに低下傾向にあり、15日現在で27°C台でした。溶存酸素量は5~6 mg/L台で概ね安定して推移しています(図2)。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【9月14日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	6.3	6.1	6.4	5.8	6.3	5.8	6.6	6.4	6.4	6.4	6.4
5m	6.0	5.9	6.4	6.0	-	-	6.3	6.3	6.4	6.5	6.4
海底付近	5.9	5.9	5.7	5.8	6.2	5.1	5.7	6.2	4.6	6.0	6.2

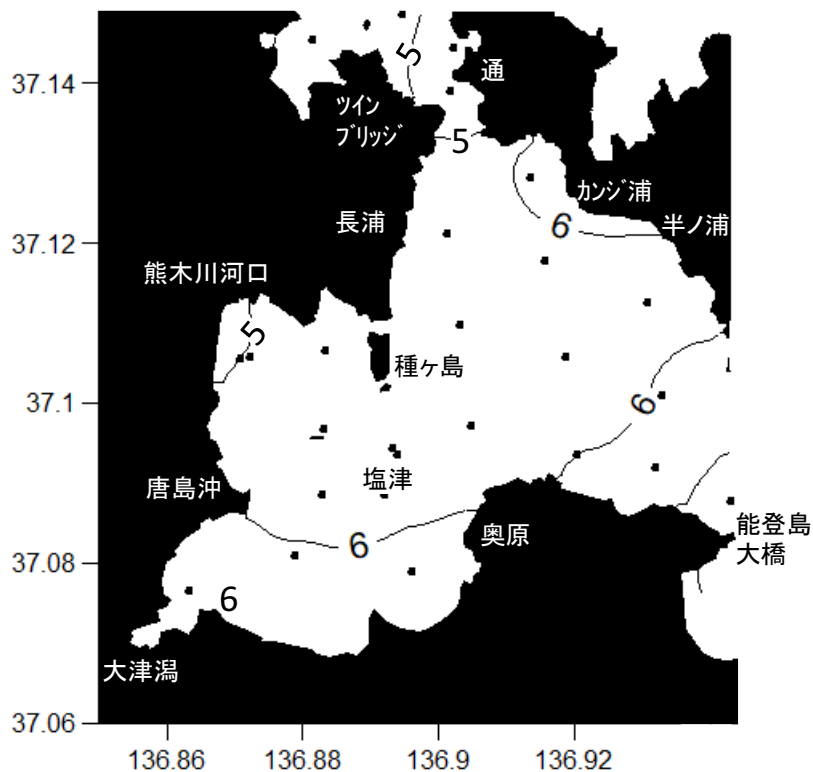


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【9月14日観測】

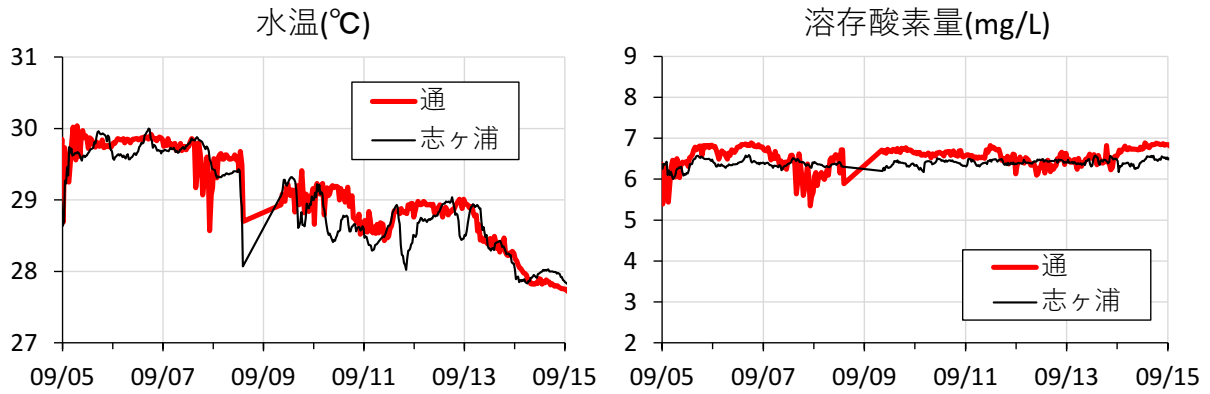


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移（9月5日～9月15日の観測ブイの結果）

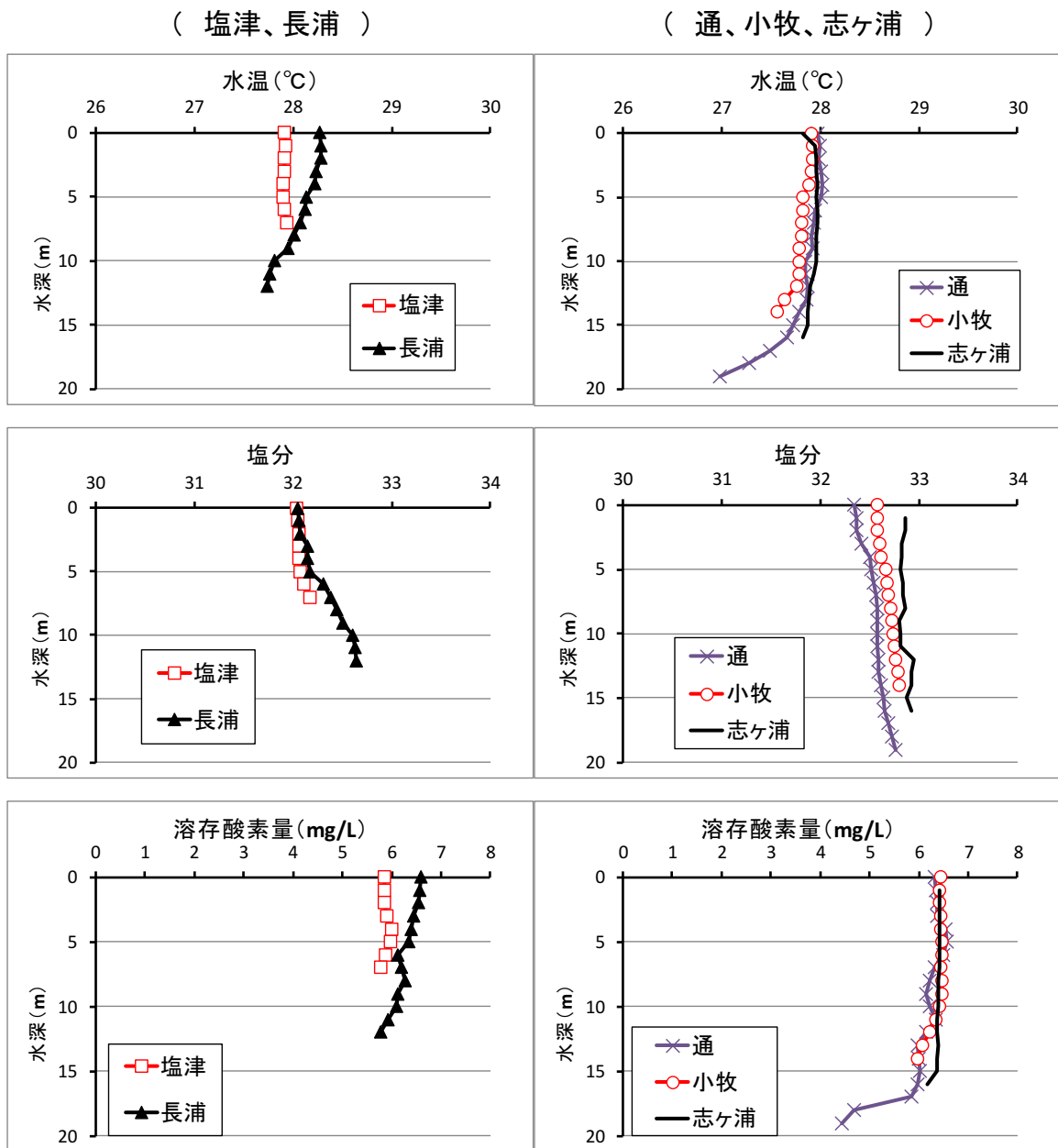


図3. 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布

七尾湾貧酸素情報

第42号

2020年10月5日発行

石川県水産総合センター海洋資源部

連絡先 TEL 0768-62-1324 FAX 0768-62-4324

【概要】

- 10月1日に七尾湾西湾を主体に溶存酸素量、水温、塩分の観測を行いました。
- 今回、貧酸素水(溶存酸素量 2.0 mg/L以下)の発生は確認されませんでした(表1・図1)。
- 調査海域の平均水温は、水深1m、5mともに24°C台であり、前回の調査(9/14)から4°Cほど低下しました。
- 通および志ヶ浦養殖場の水深10 mの水温はともに低下傾向にあり、2日現在で25°C台でした。溶存酸素量は5~7 mg/L台で概ね安定して推移しています(図2)。
- 湾内での広範囲な貧酸素水塊の発生は今後ないと考えられるため、今年度の情報は今号で終了します。

表1. 七尾湾の溶存酸素量(mg/L)【10月1日観測】

調査海域	南湾	西湾							北湾		
	能登島大橋	半ノ浦	奥原	塩津	唐島沖	熊木川河口	長浦	カンジ浦	ツインブリッジ	小牧	志ヶ浦(穴水)
水深	10m	6m	9m	8m	4m	3m	14m	9m	21m	15m	16m
1m	6.8	6.8	6.8	6.9	7.1	6.3	6.7	6.8	6.3	6.6	6.5
5m	6.7	6.5	7.4	6.6	-	-	6.7	6.7	6.6	6.5	6.5
海底付近	6.4	6.4	7.6	6.1	6.4	5.4	6.0	6.0	6.2	5.9	6.3

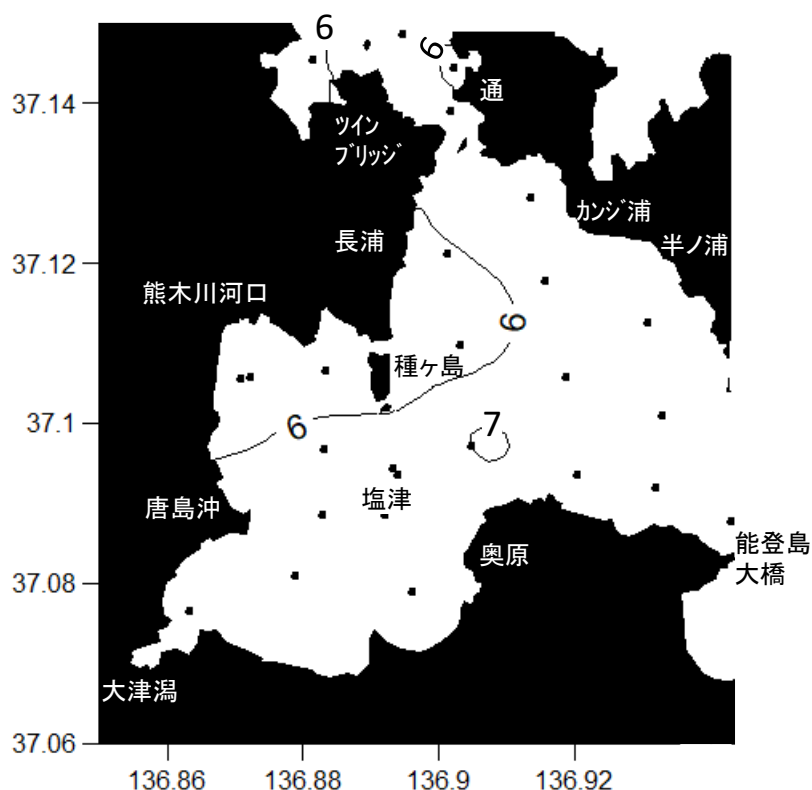


図1. 海底付近の溶存酸素量分布 (mg/L) 【10月1日観測】

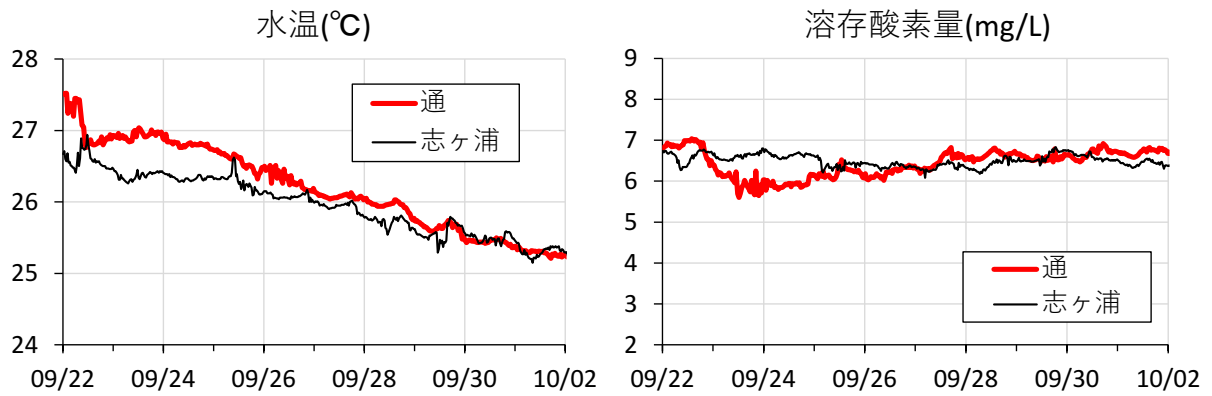


図2. 水深10mの水温・溶存酸素量の推移 (9月22日～10月2日の観測ブイの結果)

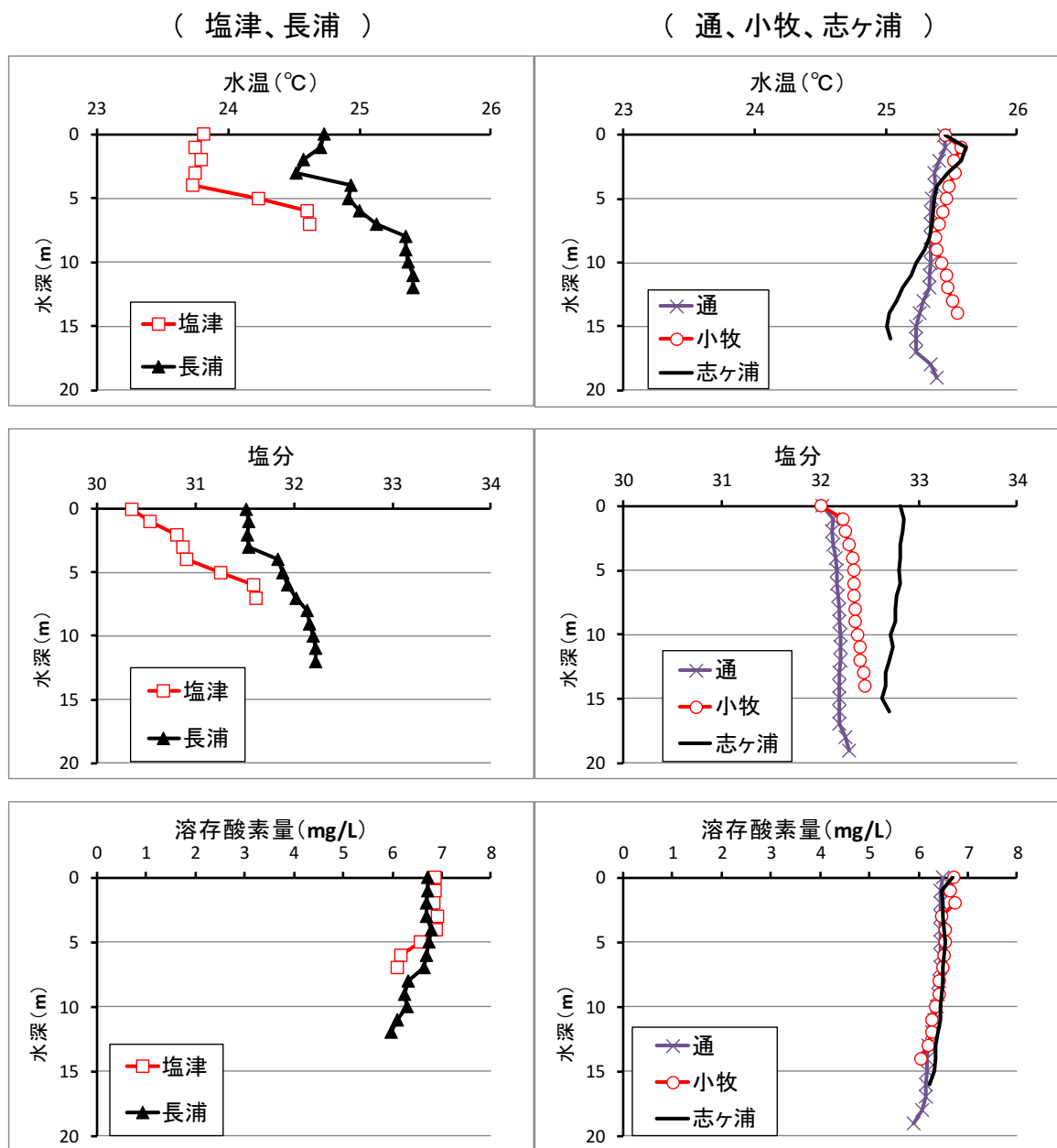


図3. 各養殖場における水温・塩分・溶存酸素量の鉛直分布